

プロトコール C に関するワーニングメッセージに関するお詫び

eCPMS の追加改修を行った際に、グリーン（4 週間間隔）かつプロトコール C の患者さんと、直近および今回の血糖又は HbA1c 測定時にプロトコールの変更がなく、「内科医と相談」の項で「クロザリルの継続可否」で「プロトコール C 患者であるが、継続投与する」にチェックがあるが、「検査実施日前 血糖検査の実施」に入力がない（空欄）状態で承認（下記の貼り付け画面上）ボタンを押した場合には、システムチェックが働き、ワーニング確認画面に変遷した際に「**C の場合 2 週毎の血糖検査が必要です。実施しない場合は、内科医と相談の上、B 又は A に変更してください**」という注意喚起（ワーニングメッセージ）が表示される機能を追加しました。

しかしながら、グリーン（4 週間間隔）かつプロトコール C の患者さんのうち 2 週間ごとに血液検査・血糖検査を行っている患者さんにおいて、直近および今回の血糖又は HbA1c 測定時にプロトコールの変更がなく、「内科医と相談」の項において、「クロザリルの継続可否」で「プロトコール C 患者であるが、継続投与する」にチェックを入れて承認しようとする**と上記のワーニングメッセージが表示されてしまうことが確認されました。**

この場合には、「**確認済み**」に**チェック**をし、「**承認**」いただくようお願いいたします。

この不備について改修を行う予定ですが、時間を要してしまうため、正しく入力をいただいているご施設の関係者の方々にはお手数をお掛けする結果となってしまいますが、ご理解をいただきご協力をお願いいたします。